



幸せの玉手箱

須堂颯斗



まっすぐ伸びている木を見た。

高く高く空だけを見上げて育ってきた木。

その姿はとても美しく壮大で、しばらく見とれてしまった。

迷いのないまっすぐさは人をひきつける。

自分を信じるということは、それくらい輝きを放つための肥料になるんだ。

## 通過点

---



もしもあなたが喜びしか知らなかったら、今のあなたはいただろうか。

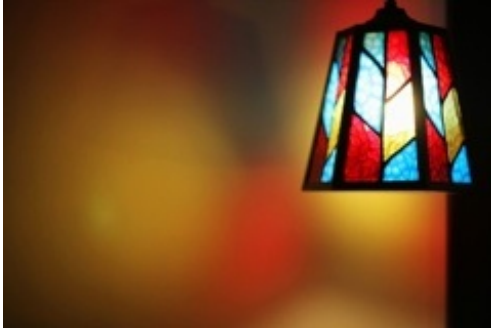
そして、そのあなたは果たして幸せだと思えただろうか。

悲しみや痛みを知ってこそ、嬉しい時の喜びは何十倍にもなる。

だからもし辛い事に出会っても、本当の幸せを知るための通過点なのだとは心から受け止めよう。

## 悲しい言葉

---



「どうせ」という言葉を簡単に発してしまっていないだろうか。

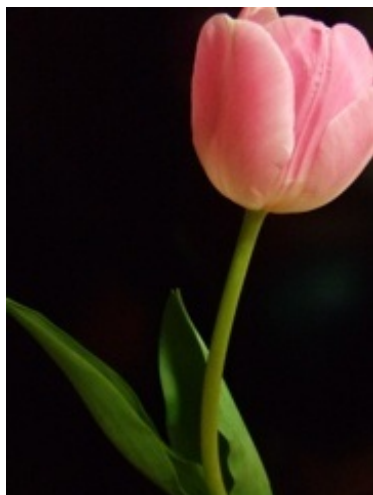
ネガティブな気持ちでいっぱいになるだけでなく、限りない未来の可能性を否定しかねない悲しい言葉。

出来るなら忘れてしまってもいいかもしれない。

それくらい遣わないでいてほしい負の気休めだ。

希望があるからこそ人生は楽しい。

自分と対話する時は温かい言葉をかけてあげよう。



人と自分を比べて自己の価値をはかったりしないように。

全く違う人生を生きてきた他人を基準にするのはナンセンスというもの。

大切なのは、どれだけ自分を客観視して成長しようとするかだから。

## 迷うこと

---



迷うこと。悩むこと。寂しさに震えること。

誰もが人生のどこかで経験することだけど、どうか辛いだけの時期だと思わないで。

自分ととことん向き合うチャンスであり、あなたがあなたらしく生きていくための方向を見出だす愛おしい時間でもあるのです。

## 四つ葉のクローバー

---



葉の一枚一枚に意味があるのはご存知だろうか。

それぞれ

『富』

『名声』

『愛』

『健康』

四つ葉のクローバーを集めると幸せになれると言われているけど

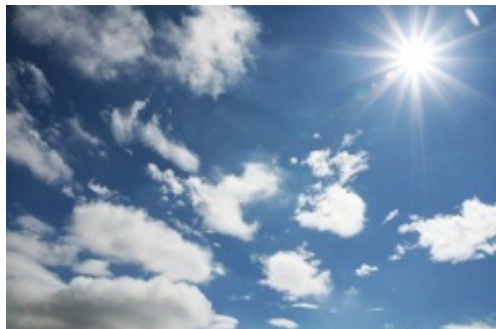
その人が幸せと感ずることが出来たなら、三つ葉でも二葉でも、たとえ他の葉が

取れてしまっても愛の葉一つになったとしても、それで十分だと思うんだ。

あなたの心のクローバーはどの葉を付けているだろう。

## 自分次第で幸せは感じられる

---



完璧な人なんていない。

はたからそのように見える人でも本人は悩んでいたりするものだ。

人間なのだから当然のこと。

肝心なのはそこからどうにかするべく努力するのか、あきらめるのか。

その気持ちひとつがあなたをキラキラさせたり、負のオーラをまとわせてしまったりする。





良い事なんて全然ない、それどころか気の沈む事ばかりが起きる。

そんな時もあるだろう。

だが、何もないところから這い上がるために生まれる力もあるんだ。

失うものがないのは、時として強みにもなる。

必死に手を伸ばし続けて見えた光は、たとえわずかだったとしても後光のように輝いて見えるはずだ。



どれほどの時をここで過ごしてきたんだろう。

穏やかで力強い優しさがそこにあった。

たくさんの雨風を凌ぎ、いくつもの時代と人を見守りながら、どんな時もしっかり留まり続けた姿が浮かんでくる。

受けとめる強さと大きさ、過ぎゆく日々の中で僕も培ってゆこう。



迷って悩んで。

一人で寂しくて。

暗闇に涙が止まらなくて。

人知れずそんな夜を過ごすこともあるだろう。

その心の痛みに生きてると実感しながら。

情けなくなんかない、涙のあとは精一杯の証だ。

ゆっくりでいいから、そこから踏み出す勇気を持とう。

## 幸せの玉手箱

著者 : HAYATO

<http://hayato-sudo.cloud-line.com/>